

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

4. Sparly Dehri 村の地域共有VIP (換気改良式)トイレの建設 (パキスタン)

- 実施団体: Shama Social Village Development Organization (#346)
- 費用: 2,112ドル (JWFファンド1,000ドル、団体518ドル、受益者594ドル)
- 受益者数: 32世帯、200人
- 実施地の水問題:

対象の村には衛生に関する設備と教育が不足していた。各家庭には囲いのあるスペースがあって、そこで排泄や洗濯・沐浴をしていたが、動物が糞便を餌としていた。申請団体が2018年～2019年に実施した調査では、村の約6割は適切な衛生設備がなく野外排泄をしていた。糞便汚染による水源の汚染が深刻となって、下痢症やマラリアなどの病気が発生していた。



住民がトイレとして使っていたスペース



完成したVIPトイレ



完成したトイレの内部

- 主な活動内容: 地域住民との協議、地域住民主体の委員会4つの設立、地域共有のダブルVIP (Ventilated Improved Pit 換気改良式) トイレ5基の建設、衛生習慣についての啓発活動2回、維持管理委員会の設立と維持管理トレーニング等
- 持続性: 建設したトイレの維持管理は維持管理委員会が行った。

これらの活動により衛生環境を改善して、住民の生活環境の向上が期待された。

JWFファンド2020 フォローアップ結果

4. Sparly Dehri 村の地域共有VIP (換気改良式)トイレの建設 (パキスタン)

【現状】

- 事業終了後、4基は女性や子どもたちなど、地元住民によって正しく使用されていた。ただし、残り1基は、2022年の度重なる洪水で完全に破壊された。現地は洪水復興のため、受益者、政府関係・地元機構とも多忙だった。(2023年5月調査時)
- 受益者は、計画時の啓発トレーニングどおりに施設を使用して、維持管理委員会も正しく管理していた。委員会は、受益者から月極め費用を徴収して維持管理に充てていた。
- 施設は、地元所有で、維持管理委員会の決定には地元民が参画し、問題なく運用されていた。

【変化】

- 計画時の啓発トレーニングの大きな成果として、受益者に以下の変化があった。
 - 汚れと、清浄な飲料水を分離する
 - 飲食前の手洗い
 - 空き地でなく共同トイレの使用によって衛生環境が向上
 - 家庭での滞留水削減によって軽度の感染症を撲滅
- 施設と受益者の保健衛生啓発活動により、計画地域では下痢、寄生虫などによる感染症が約70%減った。(今回のフォローアップ調査以前に、地元の医療機関が事業前後の患者数について分析したものを実施団体が入手して判明)。

【その他】

- 草の根活動の最大の阻害要因は、資金不足。
- JWFF2020のフィードバックとして、JWFファンドを増額するべきで、大きな災害によって清浄な水を得られない地域には臨時対応を希望すると実施団体から要望された。



No.2 2023



No.4 2023



No.5 2023

JWFファンド2020 フォローアップ結果

現場からの声（抜粋）

4. Sparly Dehri 村の地域共有VIP（換気改良式）トイレの建設（パキスタン）



Peer Bakhshさん
(70歳)

この事業によって80%以上の地域住民の衛生習慣が変わりました。以前は人々の生活に衛生観念がなかったのですが、事業の基礎啓発プログラムで、保健衛生の基本原則を学びました。それは、革命となりました。基本原則を受け入れ実施することで、自分たちだけでなく子どもや親戚にも刷り込みが進み、人々の振る舞いが顕著に改善しました。以前はトイレがなかったので、女性や子どもは空き地で用を足し、村には悪臭が漂っていましたがVIPトイレを使うようになり健全になりました。この事業の完成後、自分の村だけでなく近隣の村の多くの人が、衛生や清潔さを意識して、この事業で学んだ人たちを通じて衛生観念を取り入れるようになりました。この事業でできたトイレの形状を手本にして、他の村で自分の家に似たようなトイレを作った例も見られるようになりました。



Bas Ali Shahさん
(51歳)

毎月維持管理委員会のメンバーが集まり、住民からの声を分析して、分担ごとに責任を持ってそれぞれの問題に対応しています。委員会は、互いに相談しながら、仲間意識をもって問題なく運営されています。受益者からは、洪水被害にあった人たちへもっとたくさんVIPトイレを作ってほしい、衛生環境を良くしてほしいといわれますよ。



Ulfatさん
(30歳)

私と家族、特に子どもたちは、日常的にこの事業の恩恵を得ていて、使いやすい施設を支援してくれたJWFに深く感謝しています。施設を手に入れられてありがたかったです。WASHトレーニングから多くのことを学び、今や汚染の予防を実行しようとしています。飲食の前に手を洗い、ゴミ等を家から離れたところに捨てるようになって、病気が減りました。畑では、化学肥料ではなく有機肥料を使うようになって、野菜も多く獲れるようになりました。この事業によって、汚染の排除、快適な環境、地元民による保健衛生面への強いこだわり、軽度の病気の減少、地域へのVIPトイレ施設導入、この村以外の人たちが自助努力で似たようなトイレを建設し始めたことを、目にするようになりました。